

みなとタウンフォーラム・第1グループ 街づくり分野

令和2(2020)年3月23日

みなとタウンフォーラム第1グループ [メンバー]

秋元 宏	小澤 孝明	小野間 良
北澤 新樹	北野 健二	木村 美由紀
外川 昭宏	成田 祐一	藤本 佳子

※メンバーは五十音順



提言にあたって

第1グループ【街づくり分野】

私たち第1グループは、街づくり分野について、メンバーの興味・関心に基づき、「居住環境」、「魅力ある街並み景観の形成」、「公園・緑・水辺」の3つのテーマに分け、全8回にわたり、グループ会議で議論を重ねてきました。

港区は高輪ゲートウェイ駅や虎ノ門ヒルズ駅といった新駅をはじめとした多くの開発による街づくりが進んでおり、日本が誇る大都市となっています。この環境を活かしてグローバル社会への対応や、魅力ある都市の形成を図っていくことが必要です。一方で、私たちを取り巻く環境は温暖化による夏の猛暑日の増加や巨大台風の出現といった、これまでにない規模の災害が頻発しているなど大きく変化しており、それらに対応した安全・安心な街づくりも求められています。更に、私たち生活者目線で見ると、狭い道路が多い、地域住民が気軽に集まれる場所が不足している、バリアフリー化がまだ十分でない等といった課題があることを共有しました。

こうした現状・課題を共有した中で「居住環境」については、魅力的な住宅地や持続可能・身近なまちとして、多くの人が港区に住みたいと思い、地域への愛着を醸成していくため、ボーダーレスなコミュニティづくりや、住み続けたいくなるまちづくり

に向けた取組について議論しました。

「魅力ある街並み景観の形成」については、気候変動による環境の変化等を踏まえ、景観を見た目の視点だけで捉えるのではなく、機能の視点としてどうあるべきか、更には見て、歩いて、体験して楽しいまちとすることで、景観の美しさと高度な都市機能のバランスの取れたまちとしていくための取組について議論しました。

「公園・緑・水辺」については、子どもから大人、外国人、障害者も含めた多様な人々が楽しみ、親しめるように公園・緑・水辺として必要な機能や区民参画について、ハード、ソフトの両面からの取組を議論しました。

以上のような議論を積み重ねていくことで、港区が地域のつながりを感じ、美しさと高度な都市機能が集約された街並みとして、誰もが住みたい、訪れたいと感じる街となってほしいという思いを込めて、第1グループの提言を取りまとめました。

この提言が、令和3（2021）年度からの次期港区基本計画に反映され、市街地の中に豊かな緑や水辺を感じ、環境の変化やグローバル社会に対応した誰もが住みやすく訪れやすいまちとして魅力あふれる港区が実現されることを期待します。

提言の体系

テーマ		提言内容（具体的な事業）	
居住環境	魅力的な住宅地	○細街路の拡幅の推進	
		○コミュニティ活動拠点の整備	
		○誰もが住民サービスを受けられる仕組みの構築	
		○港区ならではの魅力ある道路づくり	
		○デジタルサイネージ等を活用した情報発信	
		○マンション空き室の動向調査	
	持続可能・身近なまち	○案内表示の多言語化	
		○地域特性を知ることのできる案内表示の設置	
		○インフラの見直しによる機能の向上	
		○地域で便利に生活するためのインフラ整備	
魅力ある街並み 景観の形成	緑	○木の日影で休める環境の確保	
		○木の苗、花・野菜の種の配布	
	夜間景観	○公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピングの実施	
	ランドマーク・シンボル	○ランドマークによる景観づくりの推進	
		○昭和を感じる景観資源の保全	
	街並みの統一感	○商店街の統一した街並み景観の形成	
		○支所ごとのコンセプトカラーの設定	
景観を損なうものをなくす	○無電柱化の推進		
その他	○港区景観街づくり賞等の募集における SNS 等の活用		
公園・緑・水辺	○周辺環境や利用者に合わせて公園機能の見直し・充実		
	○環境の変化に対応した緑の充実		
	○親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備		

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

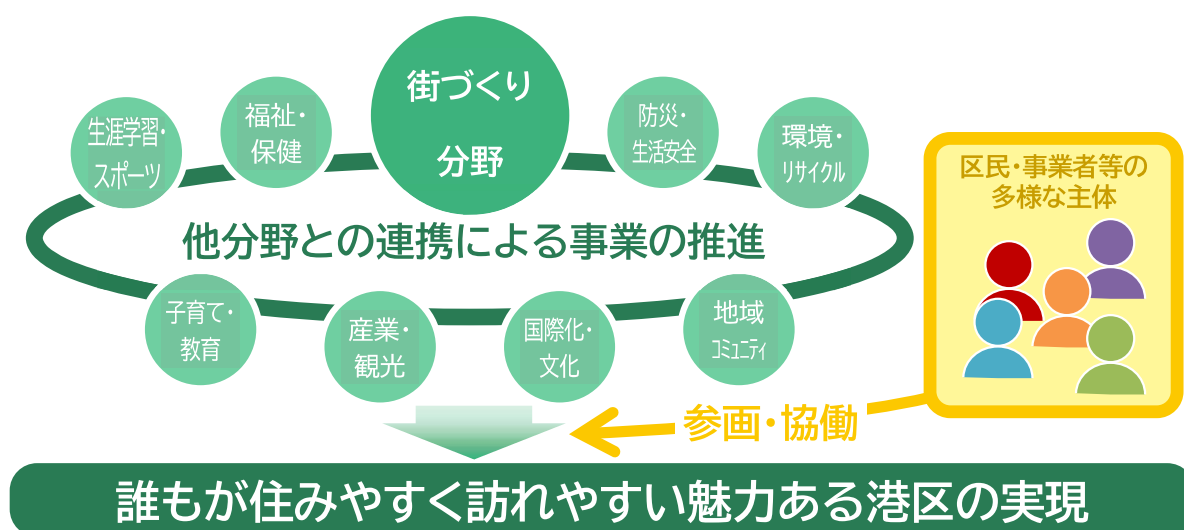
第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

提言内容は、第1グループ（街づくり分野）の事業で完結するのではなく、他グループ事業との相互連携はもちろん、区の有形無形の資産（協定先との連携含む。）を積極的に活用し、区民・事業者等の積極的な参画や働きかけ、多様な主体の協働により、区内5地区が横断的に取り組み、実現することを期待します。



テーマ① 居住環境／魅力的な住宅地

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

ボーダーレスなコミュニティづくり

住民同士が互いに理解しながら助け合う、誰もが住みやすく、区民が誇りに思えるまちを実現する。

実現に向けた課題

- 映画やドラマのロケ地に使ってもらえるような、多くの人が港区に住みたいと思えるまちにする。
- 狭い道路は防犯上や道路交通上危険なため民地も協力して対策を講じる。
- 地域のつながりやコミュニティを活性化させるため、地域内に気軽に集まれる場所を確保する。

取組の方向性

- 清潔・安全なまち
- 障害者・外国人を含め誰もが住みやすいまち
- コミュニティ活動が活発で相互の理解と助け合いが進んでいるまち
- 区民が誇れるまち

具体的な事業

- **細街路の拡幅の推進** 誰もが歩きやすく、安全・安心な居住環境を実現するため、住宅街等から地区を選定し、地区内の細街路の拡幅を積極的に推進する。
- **コミュニティ活動拠点の整備** 誰もが気軽に立ち寄り、集まることのできる区民の交流を促すスペースを確保する。
- **誰もが住民サービスを受けられる仕組みの構築** 高齢社会が進展する区内において、生活圏で買い物や医療・福祉、行政サービス等のニーズを調査して実態を把握し、ニーズに応じた対策を講じる。
- **港区ならではの魅力ある道路づくり** 区民が誇れる街並みの創出のため、特徴ある道路へのネーミング、配色を切り替えることで季節を感じられる街路灯の設置、港区の木や地域に馴染みある木など特色ある街路樹の植樹、ちいばすのバス停のデザイン性の充実化を行う。
- **デジタルサイネージ等を活用した情報発信** デジタルサイネージ等を活用した区や地域の情報発信を、まずは工事現場に設置されたものから利用できるよう協力を要請し、技術面、費用面、ニーズを確認しながら、将来的には、今後の区や地域の掲示板「デジタル掲示板」として設置していくことを検討する。
- **マンション空き室の動向調査** 港区内のマンションの適切な管理に向けて、空き室の状況について定期的の実態を把握する。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 広報・啓蒙活動など周囲の人へ参加を呼びかけながら街の美化運動を推進する。
- 地域が主体となって、イベントの実施や、外国人との交流を積極的に行うなど、地域の特色あるコミュニティ活動を充実する。
- 移動販売店舗等の事業者への誘致に取り組む。

テーマ① 居住環境／持続可能・身近なまち

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

地域内のつながりが深まり、住み続けたいまち

誰もが移動しやすく、不自由のない利便性の高い居住環境が整い、地域への愛着が醸成され、住み続けたいと思えるまちを実現する。

実現に向けた課題

- 高輪ゲートウェイ駅周辺等の開発が進み、今後さらにグローバル化が進む中で、外国人も住みやすいまちづくりを考えていく。
- 区民が区の歴史や特性に興味をもつ掲示板等をもっと設置する。
- 高齢者や障害者に対応したバリアフリーや、人口減少時代に向けたインフラのあり方を考えていく。

取組の方向性

- 簡単・自由に移動できる環境の充実
- バリアフリーの充実
- 地区ごとに利便性の高い居住環境の確保

具体的な事業

- **案内表示の多言語化** 港区内に多く居住する外国人が快適に過ごせるよう、街中の案内板や駅のサインなど、案内表示の多言語化に取り組む。
- **地域特性を知ることのできる案内表示の設置** 住んでいる地域への愛着を醸成するため、公園・水辺等において地域の歴史や特色を知ることができる案内表示を設置する。
- **インフラの見直しによる機能の向上** 区内を誰もが移動しやすい環境となるよう、道路や歩道橋のバリアフリー化や店舗の前の段差解消を推進する。

- **地域で安全で便利に生活するためのインフラ整備** 地域と協議しながら、商店街をはじめとして歩行者優先の道路づくり（スクランブル交差点化や立体的に見える路面標識の採用等）を推進する。

ちいばすの位置情報システムをスマートフォンでも対応可能とするなど、ちいばすで移動しやすい環境整備やIT化等を含めたインフラ整備、生活利便施設等の導入を検討する。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 広報・啓蒙活動など、周囲の人へ参加を呼びかけながら、街の美化運動を推進する。
- 地域主体のイベントの実施や、外国人との交流を積極的に行うなど、地域の特色あるコミュニティ活動を充実する。
- 移動販売店舗等の事業者への誘致に取り組む。

テーマ② 魅力ある街並み景観の形成

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

景観の美しさと高度な都市機能のバランスの取れた、輝くまち

良いものはより良くなり、良くないものは無くなることで、見た目と機能がバランスよく配慮された魅力あふれるまちを実現する。

実現に向けた課題

- ・ 緑は景観的に良いだけでなく、夏場の日影づくりに考慮する。
- ・ 夜は暗い場所も多いので、都心部の街として夜も楽しく、安全なまちにする。
- ・ 区内の街並みに特徴を出すため、街ごとに統一感を出し、シンボルを生み出す。
- ・ 電柱等はなくし、すっきりとした街並みにする。

取組の方向性

[見た目の視点]

- ・ バランスのとれた景観
- ・ オリジナリティのある景観
- ・ 夜間でも明るい安全なまち

[機能の視点]

- ・ 景観を損なうものを極力なくしたスッキリしたまち

[その他の視点]

- ・ 見て楽しい、歩いて楽しい、体験して楽しいまち

具体的な事業

[緑]

- ・ **木の日影で休める環境の確保** 気候の変動により猛暑が多い中で、防災面の視点に考慮しつつ、日影がしやすい木を植栽する。計画的な植替が進むよう、緑の現状や植樹が可能なスペースを調査したうえで、中長期的な植替プランを策定する。
- ・ **木の苗、花・野菜の種の配布** 区で進めている植木市等での配布だけでなく、緑が好きになるきっかけづくりとしてより多くの区民に木の苗、花・野菜の種を配布する。

[夜間景観]

- **公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピングの実施** 夜間景観を彩るライトアップやプロジェクションマッピングの周辺の街並みへの波及を期待し、公共施設での取組を充実する。

[ランドマーク・シンボル]

- **ランドマークによる景観づくりの推進** 区民の愛着の醸成や区外への観光PRのため、地域の歴史・文化等を踏まえたランドマークとなる景観を区民の意向を踏まえて設定するとともに、それらにキャッチフレーズを設定する。
更に、ランドマークを起点とした景観づくりや、ランドマークを眺めることのできるスポットの周知、ベンチの設置などの環境整備を図る。
- **昭和を感じる景観資源の保全** 新しい令和の時代を迎えた中で、昭和を感じることのできる建物や境界を感じる街並み等の景観資源の保全に積極的かつ早急に取り組む。

[街並みの統一感]

- **商店街の統一した街並み景観の形成** 商店街等の個性と特徴を感じられる景観形成を図っていくため、歩道の舗装デザインの工夫や、統一したフラッグ・サインの掲示を促す。
- **支所ごとのコンセプトカラーの設定** 公共施設や民間施設等の一部や公共サイン等において、支所ごとの特徴を感じられる景観形成を図っていくため、コンセプトカラーを設定する。

[景観を損なうものをなくす]

- **無電柱化の推進** 誰もが歩きやすく、スッキリとした景観形成を図っていくため、無電柱化を推進する。

[その他]

- **港区景観街づくり賞等の募集におけるSNS等の活用** SNS等での#（ハッシュタグ）やケーブルテレビ等を活用し、港区区民景観セレクション等を誰もが気軽に参加できる応募方法とする。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 区内の景観・緑の必要性や重要性を多くの区民に理解してもらえるよう、周囲の人への情報の提供や啓蒙により、まちづくりに参加する区民を増やす。
- 配布された木の苗、花の種、野菜の種を活用し、家の周囲に彩を与える緑化に積極的に取り組む。
- 家の近くの公園や道路の植栽について、アドプト制度等による維持管理、街のごみ清掃等に積極的に参加する。
- SNS等を活用し、区の取り組みや港区景観街づくり賞等の情報を発信し、周囲の人への周知に協力する。

テーマ③ 公園・緑・水辺

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

区民の日常にうるおいを与え、来訪者が親しめる公園・緑・水辺が融合したパークエリア「みなと」の創出

誰もが親しみや賑わい、安らぎを感じられるよう各公園が機能を分担し、多様な緑が溢れ、水辺で賑わいや潤いを感じることでできるまちを実現する。

実現に向けた課題

- 子どもが安全・安心に遊べて、大人も憩える緑豊かな公園にする。
- 誰もが公園を訪れたいイベントの充実や、区民の意見を取り入れた公園整備を図る。
- 道路整備等によって無くなる住宅地内の公園は代替地を確保し、区民の憩いの場を充実する。
- 多様な緑を感じられるよう、既存の緑を保全していくとともに、新しい緑を創出できるスペースを確保する。
- 水辺を観光資源として活用できるよう、遊歩道と運河の機能的な連携や、水辺の賑わいを充実する。

取組の方向性

- 既存公園の機能や活用の方向性の見直し（静かな公園・にぎわいのある公園等）
- 普段使わない人を呼び込むイベントの充実
- 安全できれいな公園づくり
- 多様な緑・新しく大きな樹木の整備
- 区民が誇れる・PRしたくなる水辺づくり

具体的な事業

- ・ **周辺環境や利用者に合わせた公園機能の見直し・充実** 土地の形・アクセス・広さ等の立地環境や地域住民の人口構成の変化等を踏まえ、庭園型、運動場型、外国人も含めた交流・憩いの場型等の目的に応じた公園の機能分担と整備を進める。

【検討のポイント】

ハード面

- ・ 子供の遊び機能（芝生、遊具、花・野菜を育てられる花壇、幼児限定サイクルスペース等）
- ・ 大人の憩い機能（アート作品等、休憩・談笑等のできる屋根付き休憩施設）
- ・ 家族で楽しめる機能（ハイキングスペース（テーブル、ベンチの増設、屋根付き施設））
- ・ スポーツ機能（周回できるランニングコース等）
- ・ 交流機能（イベントスペース、道路整備等により無くなる公園の代替地の確保等）
- ・ 利便性向上機能（多言語案内板（夜間照明付）、トイレ、水飲み場、Wi-Fi環境等）
- ・ 緑化機能（ベンチに日影ができる緑、芝生等）
- ・ 防災機能（防災設備の集積、かまどベンチ、マンホールトイレ等）
- ・ バリアフリー機能（高齢者、身障者、乳母車等が安全に利用可能な遊歩道等）

ソフト面

- ・ 周辺住民対応（ワークショップ等による意向把握）、区民参画型の段階的な公園整備（ベンチ作り・菜園の整備、遊具の設置等）、騒音、美化、プライバシーへの配慮等
- ・ イベントの充実（イベントの誘致・開催やSNS・区ホームページでの情報発信）
- ・ 安全・美化対策（照明の明るさの調整、フットライト等の設置、清掃・設備更新の定期化、倒木や枯れ木の処理等）
- ・ 多言語掲示板での案内（園内の利用方法、マナー、外国での公園遊びの紹介等）

- **環境の変化に対応した緑の充実** 子どもから大人までの多くの世代が学べる場として、多様な生態系を意識した植物や温暖化等による環境の変化に対応した樹種の緑を区内に充実させる。

【検討のポイント】

- 場所の特性等に応じて、観賞用・教育用に多様な植物を植える
- 公園等を活用して地域のランドマークとなる大木を植える
- 日影のできる樹種を充実させる
- 区民菜園を充実させる

- **親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備** 区内の水辺を誰もが親しみやすく利用しやすい環境に整備する。

【検討のポイント】

ハード面

- 水辺に面した遊歩道の確保による観光ルート化
- 水辺を楽しく歩くことのできる花や緑の充実
- 水辺の賑わいを充実するためのホテル・レストラン・物販施設・キッチンカー等の誘致
- 区民が親しむことのできる古川沿いの環境整備（開発に合わせた親水空間の整備等）

ソフト面

- 水辺の美化活動（植栽・砂浜の清掃等）
- プロモーションの充実（SNS活用、海苔の養殖の周知、オブジェの設置、水面を活用したプロジェクションマッピング、水辺のライトアップ等）
- 水上交通の充実（水上タクシー・バスの実施）
- 多言語掲示板での案内（水辺の利用方法、マナー等）

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 近隣公園や水辺のあり方や環境整備についての検討へ積極的に参加する。
- 公園や水辺を美しく保つためのマナー順守（ごみのポイ捨て、ベンチの独占等をなくす）を呼びかける。
- 公園や水辺でのイベント開催支援、プロモーション協力やイベントに参加する。
- 街路樹や公園の樹種選定に対する提案や、アドプト制度等による日常の周辺清掃、維持管理への協力を行う。
- 区の取り組みについてSNS等を通じて積極的に発信する。

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニケーション分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

開催経過 第1グループ【街づくり分野】

回数	開催日時	内容
第1回	令和元年9月24日(火) 18:30~20:30	事務局紹介 グループ会議の進め方について 分野における現状と課題について リーダー及びサブリーダーの選出 検討テーマの設定
第2回	令和元年10月15日(火) 18:30~20:30	事業の課題と効果について 検討テーマ「居住環境」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第3回	令和元年10月28日(月) 18:30~20:30	第2回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「居住環境」について ・将来像、取組の方向性 ・具体的な事業 ・区民の参画と協働
第4回	令和元年11月11日(月) 18:30~20:30	第3回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「魅力ある街並み景観」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第5回	令和元年11月22日(金) 18:30~20:30	第4回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「魅力ある街並み景観」について ・具体的な事業 ・区民の参画と協働
第6回	令和元年12月9日(月) 18:30~20:30	第5回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「公園・緑・水辺」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第7回	令和元年12月23日(月) 18:30~20:30	第6回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「公園・緑・水辺」について ・具体的な事業 ・区民の参画と協働 提言書に掲載する事業の調整
第8回	令和2年1月14日(火) 18:30~20:30	提言書について